

生きる力市民運動化プロジェクト 「みんなの防災手帳」

「みんなの防災手帳」とは

自然災害を正しく理解し、備え、「生きる力」を高める。
自然災害の脅威を科学的に理解し、事前の備えを行うための1冊です。
災害時、最も危険な発災から10,000時間を推定し、被災した際に、
自分が今どの時間帯にいて、なにが必要なのかをすばやく確認。
個人や家族に役立つ多くの情報をまとめました。
具体的に、実践的に、すべての人の中にある「生きる力」をサポートします。



「みんなの防災手帳」5つのポイント

POINT 1

いざという時、家族のルールや大切な情報を書き込める「手帳」形式のページを冒頭に設定。

POINT 2

発災前から復旧復興まで、その時々で必要な情報がすぐに引き出せるように、「被災時間軸」に即した編集

POINT 3

被災者の実感と実践的教訓を伝えるために、東日本大震災の被災者の「生声」を収録する

POINT 4

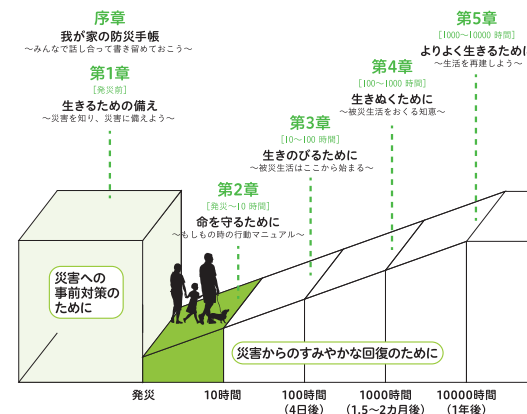
被災時の具体的な行動指針を提示するために、常に「動詞」で語りかける

POINT 5

被災時に瞬時に次の行動を選択できるように、文章は簡潔に「140字」を目安とする
※140字とはツイッターに書き込める最大の文字数

「被災時間軸」で編集

発災前から復旧復興まで、その時々で必要な情報がすぐに引き出せるように、「被災時間軸」に即した編集で構成。



日本国内で153,500部を配布

配布後の施策として、みんなの防災手帳に関する講演会や、活用方法を指南する講座も開催しています。

- ①岩手県 約113,500世帯
- ②宮城県多賀城市 約30,000世帯
- ③宮崎県高鍋町 約10,000世帯



岩手県沿岸部での使い方講座の様子



東北大学災害科学国際研究所では2012年「生きる力」市民運動化プロジェクトを立ち上げました。このプロジェクトでは、自然災害と正しく向き合い、「生きる力」を育むことの重要性を国民一人ひとりに認識させる啓蒙活動を推進。その活動成果として、防災減災対策から、災害発生後の迅速な復旧復興につながるツール「みんなの防災手帳」を開発しました。

問い合わせ先 東北大学災害科学国際研究所 佐藤翔輔助教 ✉ ssato@irides.tohoku.ac.jp



被災訓練プログラム『BOSAI CAMP(仮称)』の開発

『BOSAI CAMP』とは

復興庁「生きる力・市民運動化プロジェクト」の一環として、「東北大学災害科学国際研究所」の、東日本大震災の被災・復旧・復興を通じて蓄積された知見と、危機管理のプロフェッショナル集団「PROJECT72」によるスキル・トレーニングの相乗効果により、ひとりひとりの『生きる力』を育成するプログラムとして開発しました。

地震・津波・豪雨などの自然災害から逃れられない日本。そうした中で、命を守り、できる限り被害を少なくしていくために、また速やかな復旧・復興に結びつけていくためには、ひとりひとりがまず「生き残り」、「人を助ける立場に立つ」ことが必要です。そのためには、実際に被災したことを想定した状況で、知識と技能を身につける訓練が不可欠と言えます。



『BOSAI CAMP』では、ふだん生活している地域の公園等でライフラインが断たれた状況を仮定して行う野外宿泊と、さまざまなトレーニングを通じて、いざという時に役立つ『生きる力』を高めていただくものです。ひとりひとりの「生きる力」の向上が自治体の防災力向上にもつながります。

『BOSAI CAMP』プログラム紹介 ※下記はトライアル開催「SENDAI CAMP(9/27(土)・28(日))」を参考

コアプログラム

実際の被災を想定した宿泊キャンプ体験や市街地調査等を実施

第1日		第2日		(体験時間18時間30分)
14:00~	16:30	23:00	5:00	8:30
震災メカニズム講義  8つの「生きる力」事前測定 	市街地危険調査 ●オリエンテーション  ●市街地調査  ●AAR  ×3セット 反復実施	宿泊体験  	ごちぼう朝食  8つの「生きる力」事後検証 	まとめ 

サブプログラム

企業や団体に協力いただき、ステージやブースで被災時に役立つ知恵やアイテムの紹介



問い合わせ先

東北大学災害科学国際研究所 佐藤翔輔助教 ✉ ssato@irides.tohoku.ac.jp

